

2011年10月

いちご属

Strawberry

(*Fragaria* L.)

いちご属審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、バラ科 (*Rosaceae*) いちご属 (*Fragaria L.*) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子又は1年生発根苗
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 1,000粒
提出する種子は、発芽率、純度、含水量等保存に適したものであること。
栄養繁殖性品種の場合 40個体
ランナーについての重点調査又は病害抵抗性試験を実施する場合は別途提出種苗を追加する。
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 特性調査時に、種子繁殖性品種は 40 個体、栄養繁殖性品種は 20 個体を下回らないこと。(病害抵抗性はそれぞれの説明に従う。) それらは2区以上に分割して栽培すること。
- iii) 栽培期間 2 生育周期
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、種子繁殖性品種にあつては、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個について、栄養繁殖性品種の場合は、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
調査時期等 特性表の調査方法の欄に以下の記号を含む形質については、次により調査を行う。
 - (a) 植物体および葉の調査は、収穫期の直前に行い、葉については十分に展開した葉を調査する。
 - (b) たく葉とランナーの調査は、収穫期の終期に行う(四季成り品種を除く)。ランナーについて重点的な調査を行う時は露地栽培で行わなければならない。
 - (c) 花の調査は、満開時に行う。ただし、施設栽培の場合は、第1花房開花期の第2から3番花について行う。
 - (d) 果実の調査は、頂生果を除いて行う。ただし、施設栽培の場合は、第1果房収穫期の第2から3番果の完熟果において行う。

- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 草姿 (形質 1)
- ii) 花卉の表面の色 (形質 30)
- iii) 果実の大きさ (形質 35)
- iv) 果実の形 (形質 37)
- v) 果皮の色 (形質 39)
- vi) 果肉の色 (形質 53)
- vii) 季性 (形質 58)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

MG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

G: グループ分けに使用する形質

(*): 必須形質

QL: 質的形質

QN: 量的形質

PQ: 擬似の質的形質

(+): VIII. に特性表の説明図等を示す

網掛け: 種苗法施行規則第 5 条で定める願書 (別紙様式第 1 号) に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略される

ことがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN (* G (+)	草姿	Plant: growth habit	株全体の開張度	観察 VG (a)	1 2 3	立性 中間 開張性	upright semi-upright spreading	女峰 とちおとめ、はるのか ひみこ	
2	2	QN (+)	葉の粗密	Plant: density of foliage	株全体の葉の粗密	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
3	3	QN (+)	草勢	Plant: vigor	草勢	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	福羽 宝交早生 はるのか、 女峰	
4		QN	分げつの多少	Plant: number of axillary bud	1株当たりの腋芽の数	観察/ 測定 VG/ MG 本 (a)	1 2 3	少 中 多	few medium many	ダナー 女峰 芳玉	
5	4	QN (*	開花位置	Plant: position of inflorescence in relation to foliage	葉に対する第1花房の開花位置	観察/ 測定 VG /MG (c)	1 2 3	葉より下 葉と同水準 葉より上	beneath same level above	八千代 章姫 はるのか	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	5	QN (*)	ランナーの数	Plant: number of stolons	1株当たりのランナーの発生数	観察/ 測定 本 VG/ MS (b)	1 3 5 7	無又は極少 少 中 多	absent or very few few medium many	大石四季 成2号 宝交早生 はるのか	
7	6	QN (+)	ランナーのアントシアニン着色の強弱	Stolon: anthocyanin coloration	ランナーのアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	とちおとめ、はるのか 宝交早生 芳玉	
8	7	QN	ランナーの毛の粗密	Stolon : density of pubescence	ランナーの毛の粗密	観察 VG (b)	1 2 3	粗 中 密	sparse medium dense		
9	8	QN (+)	葉の大きさ	Leaf: size	葉柄を除く小葉全体の大きさ	観察/ 測定 VG/ MG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large		

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	9	PQ	葉の表面の色	Leaf: color of upper side	葉の表面の色	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	黄緑 淡緑 緑 濃緑 青緑	yellow green light green medium green dark green blue green	ダナー とちおとめ アメリカ	
11	10	QN (* (+)	葉の表面の凹凸の強弱	Leaf: blistering	葉の表面の凹凸の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	女峰 とちおとめ	
12	11	QN (*	葉の表面の光沢の強弱	Leaf: glossiness	葉の表面の光沢の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	とよのか 章姫	
13	12	QL	葉の表面の斑の有無	Leaf: variegation	葉の表面の斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	とちおとめ	
14		QN (*	頂小葉の大きさ	Terminal leaflet: size	頂小葉の縦径×横径	測定 cm ² MS (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フレール 宝交早生 はるのか、 女峰	
15	13	QN (*	頂小葉の縦横比	Terminal leaflet: length in relation to width	頂小葉の縦横比	測定 比 MS (a)	1 2 3 4	横長 同等 縦長 かなり縦長	shorter equal moderately longer much longer	とちおとめ	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	14	PQ (* (+)	頂小葉の基部の形	Terminal leaflet: shape of base	頂小葉の基部の形	観察 VG (a)	1 2 3	鋭角 鈍角 円形	acute obtuse rounded	とちおとめ 宝交早生	
17	15	PQ (+)	頂小葉の鋸歯の形	Terminal leaflet: margin	頂小葉の鋸歯の形	観察 VG (a)	1 2 3	鋸歯状 中間 鈍鋸歯状	serrate serrate to crenate crenate	堀田ワンダー 章姫 はるのか	
18	16	QN (+)	頂小葉の横断面の形	Terminal leaflet: shape in cross section	頂小葉の横断面の形	観察 VG (a)	1 2 3	上に湾曲 平面 下に湾曲	concave straight convex		
19	17	QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	堀田ワンダー 宝交早生 章姫	
20	18	QN (+)	葉柄の毛じの向き	Petiole: attitude of hairs	葉柄の毛じの向き	観察 VG (a)	1 2 3	上向き やや上向き 横向き	upwards slightly outwards horizontal	とちおとめ	
21	19	QN	たく葉のアントシアニン着色の強弱	Stipule: anthocyanin coloration	たく葉のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	章姫、とちおとめ	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	20	QN	花の数	Inflorescence: number of flowers	1 花房あたりの花数	観察 VG (c)	3 5 7	少 中 多	few medium many	はるのか ダナー 宝交早生	
23		QN	果柄の長さ	Peduncle: length	第一果房の基部から第一番果の小果柄の接合部までの長さ	観察/ 測定 MG cm (d)	3 5 7	短 中 長	short medium long	みずまる 宝交早生 はるのか	
24	21	QN (+)	小果柄の毛じの向き	Pedicle: attitude of hairs	小果柄の毛じの向き	観察 VG (d)	1 2 3	上向き やや上向き 横向き	upwards slightly outwards horizontal		
25	22	QN	花の直径	Flower: diameter	花の直径	測定 cm VG/ MG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	堀田ワン ダー とちおと め はるのか	
26	23	QN (* (+)	花卉の重なり	Flower: arrangement of petals	花卉の重なり(花卉数が5枚のもので観察する)	観察 VG (c)	1 2 3	離れる 接する 重なる	free touching overlapping	章姫 とちおと め	
27	24	QN (* (+)	花冠に対するがく片の大きさ	Flower: size of calyx in relation to corolla	花冠に対するがく片の大きさ	観察 VG (c)	1 2 3	小 同等 大	smaller same size larger	宝交早生 とちおと め	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	25	QL (*)	雄しべの有無	Flower: stamen	雄しべの有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present		
29	26	QN	花弁の縦横比	Petal: length in relation to width	花弁の縦横比	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	横長 やや横長 同等 やや縦長 縦長	much shorter moderately shorter equal moderately longer much longer	とちおとめ 章姫	
30	27	PQ (*) G	花弁の表面の色	Petal: color of upper side	花弁の表面の色	観察 VG (c)	1 2 3 4	緑白 白 桃 赤	greenish white white pink red	とちおとめ	
31		PQ	花弁の表面の主な色(観賞用品種に限る。)	Only ornamental variety: Petal: main color of upper side	花弁の表面の主な色	測定 MG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS colour chart (indicate reference number)		
32		QN	花弁の表面基部の色の濃淡(観賞用品種に限る。)	Only ornamental variety: Petal: basal part coloration on the upper side	花弁表面の主な色に対する基部の色の濃淡	観察 VG (c)	1 2 3	淡い 同等 濃い	pale same dark	フレール	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33		QN	花糸のアントシアニン着色の強弱（観賞用品種に限る。）	Only ornamental variety: Filament: anthocyanin coloration	花糸のアントシアニン着色の程度	観察 VG (c)	1 2 3 4	無 弱 中 強	absent weak medium strong	はるのか フレール	
34		QN	花柱のアントシアニン着色の強弱（観賞用品種に限る。）	Only ornamental variety: Style: anthocyanin coloration	花柱のアントシアニン着色の程度	観察 VG (c)	1 2 3 4	無 弱 中 強	absent weak medium strong	はるのか フレール	
35	29	QN (* (+) G	果実の大きさ	Fruit: size	果実の大きさ	測定 cm ³ 又はg MS (d)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	アメリカ 宝交早生 とちおとめ	
36	28	QN (*	果実の縦横比	Fruit: length in relation to width	果実の縦横比	測定 比 MS (d)	1 2 3 4 5	かなり横長 横長 同等 縦長 かなり縦長	much shorter moderately shorter equal moderately longer much longer	とちおとめ 章姫	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	30	PQ (* (+ G	果実の形	Fruit: shape	果実の形	観察 VG (d)	1	じん臓形	reniform	とちおとめ 千代田 はるのか	
							2	円錐形	conical		
							3	心臓形	cordate		
							4	卵円形	ovoid		
							5	円筒形	cylindrical		
							6	ひし形	rhomboid		
							7	扁球形	obloid		
							8	球形	globose		
							9	楔形	wedged		
38	31	QN	第一番果と第二番果の果形の差	Fruit: difference in shape of terminal and other fruits	第1番果と第2番果の果形の差	観察 VG	1	無又は極小	none or very slight	章姫 とちおとめ ダナー	
							3	小	slight		
							5	中	moderate		
							7	大	large		
							9	極大	very large		

形質番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	32	PQ (* G	果皮の色	Fruit: color	果皮の主な色	観察 VG (d)	1 2 3 4 5 6 7 8	黄白 桃白 淡橙 橙 橙赤 赤 濃赤 暗赤	whitish yellow pinkish white light orange medium orange orange red medium red dark red blackish red	和田初こ い 章姫 とちおと め シースケ ープ	
40	33	QN (+)	果皮の着色のむ らの強弱	Fruit: evenness of color	果皮の着色のむらの有無 及び強弱(がく部に近い露 出部分の着色の難易を含 む。)	観察 VG (d)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	even or very slightly uneven slightly uneven strongly uneven	章姫	
41	34	QN	果実の光沢の強 弱	Fruit: glossiness	果実の光沢の強弱	観察 VG (d)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong	はるのか 宝交早生 とちおと め、女峰	
42	35	QN (+)	果実の表面の凹 凸の強弱	Fruit: evenness of surface	果実の表面の凹凸の強弱	観察 VG (d)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	even or very slightly uneven slightly uneven strongly uneven	章姫、とち おとめ	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	36	QN (+)	果実の無種子帯	Fruit: width of band without achenes	果実の無種子帯	観察 VG (d)	1 3 5 7 9	無又は極狭 狭 中 広 極広	absent or very narrow narrow medium broad very broad	章姫、とち おとめ 女峰	
44		QL (+)	果実のネックの 有無	Fruit: neck	果実のネックの有無	観察 VG (d)	1 9	無 有	absent present	とちおと め アロマ	
45	37	QN (* (+)	そう果の落ち込 み	Fruit: position of achenes	そう果の落ち込み	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	落ち込み大 落ち込み中 落ち込み小 果皮並 飛び出す	very deep below surface deep below surface below surface level with surface above surface	ひみこ 宝交早生、 とちおと め はるのか 福羽	
46		QN	そう果の密度	Fruit: density of achenes	果実中央部のそう果の密 度	観察 VG (d)	1 2 3	粗 中 密	sparse medium dense	女峰	
47		QN	そう果のアント シアニン着色の 強弱	Fruit: anthocyanin coloration of achenes	果実中央部のそう果の着 色状況	観察 VG (d)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	宝交早生 はるのか 女峰 福羽	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	38	QN (+)	果実のがくの着生位置	Fruit: position of calyx attachment	果実のがくが着生している部分の状態	観察 VG (d)	1 2 3	陥入 平 隆起	inserted level with fruit raised	とちおとめ	
49	39	QN (+)	果実のがく片の付き方	Fruit: attitude of sepals	果実のがく片の果実基部に対する向き	観察 VG (d)	1 2 3	上向き 水平 下向き	upwards outwards downwards	とちおとめ	
50	40	QN (+)	果径に対するがくの大きさ	Fruit: diameter of calyx in relation to diameter of fruit	果径に対するがくの大きさ	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	小 やや小 同等 やや大 大	much smaller slightly smaller same size slightly larger much larger	八千代 章姫 とちおとめ、女峰	
51	41	QN	果実からのへた離れの難易	Fruit: adherence of calyx	果実からのへた離れの難易	観察 VG (d)	1 3 5 7 9	極易 易 中 難 極難	very weak weak medium strong very strong	章姫	
52	42	QN	果実の硬さ	Fruit: firmness	果実の硬さ	観察/ 測定 VG/ MG (d)	1 3 5 7 9	極軟 軟 中 硬 極硬	very soft soft medium firm very firm	宝交早生 章姫 女峰 とちおとめ	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	43	PQ (+) G	果肉の色	Fruit: color of flesh (excluding core)	果肉の色	観察 VG (d)	1 2 3 4 5 6	白 淡桃 橙赤 淡赤 赤 濃赤	whitish light pink orange red light red medium red dark red	はるのか とちおとめ	
54	44	PQ (+)	果心の色	Fruit: color of core	果心の色	観察 VG (d)	1 2 3	白 淡赤 赤	white light red medium red	章姫 はるのか とちおとめ	
55	45	QN	果実の空洞	Fruit: cavity	果実の空洞	観察 VG (d)	1 2 3	無又は小 中 大	absent or small medium large	とちおとめ はるのか 八千代	
56	46	QN	開花始期	Time of beginning of flowering	50%以上の供試株の第一花房の第一番花が開花した日の早晚	測定 月日 MG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	章姫 宝交早生 八千代	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	47	QN (+)	果実の成熟期	Time of beginning of fruit ripening	50%以上の供試株の第一 花房の第一番果が完熟し た日の早晚	測定 月日 MG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	はるのか とちおと め、女峰 ダナー 八千代	
58	48	PQ (* (+) G	季性	Type of bearing	開花結実の習性	観察 VG	1 2 3 4	一季成り 時々二季成り 二季成り 四季成り	not remontant partially remontant fully remontant day neutral	とちおと め みよし	
59		QN	可溶性固形物含 量	Fruit: soluble solids content	完熟果の Brix 値	測定 度 MS (d)	3 5 7	低 中 高	low medium high	千代田 ひみこ はるのか	
60		QN	酸度	Fruit: acidity	完熟果のクエン酸含量	測定 クエン 酸% MS (d)	3 5 7	低 中 高	low medium high	芳玉 ダナー 千代田	
61		QN	果実の香りの強 弱	Fruit: fragrance	完熟果の香り	官能 VG (d)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	宝交早生	

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
62		QN (+)	休眠性	Dormant period	平均気温 10℃頃の株のわい化程度	観察 VG	1 3 5 7	極短 短 中 長	very short short medium long	はるのか 八千代 宝交早生 ダナー	
63		QN (+)	炭そ病抵抗性	Resistance to Colletotrichum fragariae	Colletotrichum fragariae による炭そ病に対する抵抗性	検定 VG	1 2 3	罹病性 やや抵抗性 高抵抗性	susceptible moderately resistant highly resistant	芳玉 ダナー 宝交早生	
64		QN (+)	萎黄病抵抗性	Resistance to Fusarium oxysporum f. sp. fragariae	Fusarium oxysporum f. sp. fragariae による萎黄病に対する抵抗性	検定 VG	1 2 3	罹病性 やや抵抗性 高抵抗性	susceptible moderately resistant highly resistant	宝交早生 はるのか 芳玉	

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質1 草姿 Char.1 Plant : growth habit



1
立性
upright



2
中
semi-upright



3
開張性
spreading

形質2 葉の粗密 Char.2 Plant: density of foliage



3
粗
sparse



5
中
medium



7
密
dense

形質3 草勢 Char.3 Plant: vigor

草勢は栄養生長量（茎葉の生育）を観察し判断する。

The plant vigor should be considered as the overall abundance of vegetative growth.

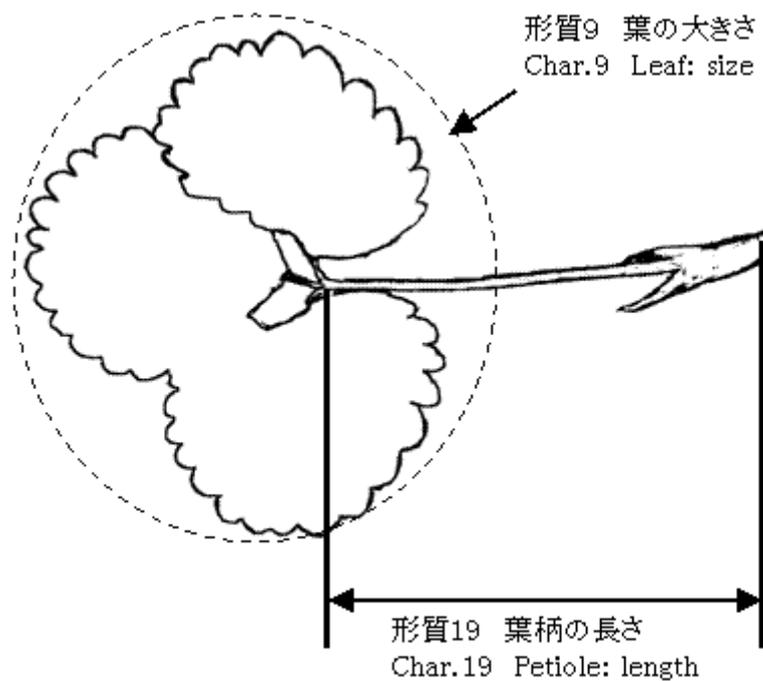
形質7 ランナーのアントシアニン着色の強弱 Char.7 Stolon: anthocyanin coloration

アントシアニンの着色はランナー中央部（三等分した中央）を観察する。

The anthocyan coloration should be observed on the middle third of the stolon.

形質 9 葉の大きさ Char.9 Leaf: size

形質 19 葉柄の長さ Char.19 Petiole: length



葉の大きさは葉柄とたく葉を除く。

The size of leaf excludes the petiole and stipules.

形質 11 葉の表面の凹凸の強弱 Char.11 Leaf: blistering



1
無又は弱
absent or weak



2
中
medium

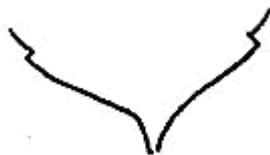


3
強
strong

形質 16 頂小葉の基部の形 Char.16 Terminal leaflet: shape of base



1
鋭角
acute



2
鈍角
obtuse



3
円形
rounded

形質 17 頂小葉の鋸歯の形 Char.17 Terminal leaflet: margin



1
鋸歯状
serrate



2
中間
serrate to crenate

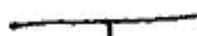


3
鈍鋸歯状
crenate

形質 18 頂小葉の横断面の形 Char.18 Terminal leaflet: shape in cross section



1
上に湾曲
concave



2
平面
straight



3
下に湾曲
convex

形質 20 葉柄の毛じの向き Char.20 Petiole: attitude of hairs

形質 24 小花柄の毛じの向き Char.24 Pedicel: attitude of hairs



1
上向き
upwards

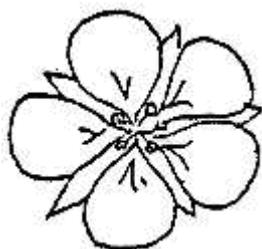


2
やや上向き
slightly outwards

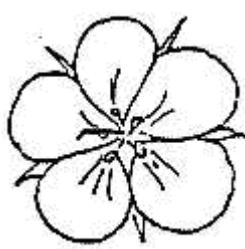


3
横向き
horizontal

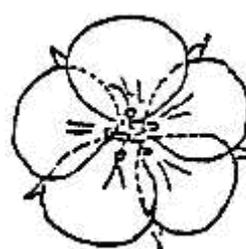
形質 26 花卉の重なり Char.26 Flower: arrangement of petals



1
離れる
free

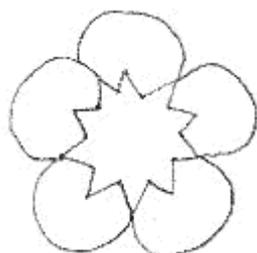


2
接する
touching

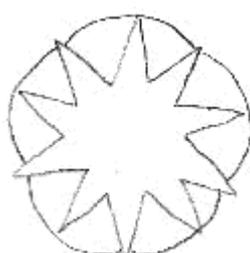


3
重なる
overlapping

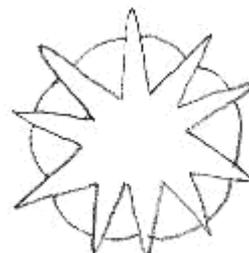
形質 27 花冠に対するがく片の大きさ Char.27 Flower: size of calyx in relation to corolla



1
小
smaller



2
同等
same size



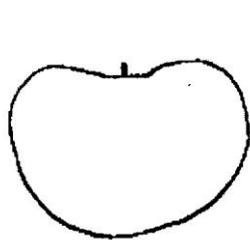
3
大
larger

形質 35 果実の大きさ Char.35 Fruit: size

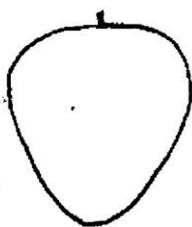
果実の大きさは長さ、高さ及び厚さで判断する。なお、従来から使用してきた重さを指標にすることもできる。

The fruit size is determined by not only the length, height and thickness but also the weight.

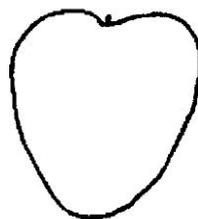
形質 37 果実の形 Char.37 Fruit: shape



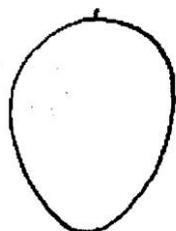
1
じん臓
reniform



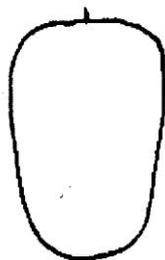
2
円錐
conical



3
心臓
cordate



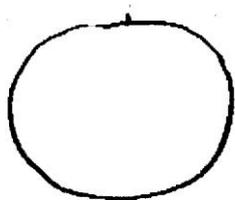
4
卵円
ovoid



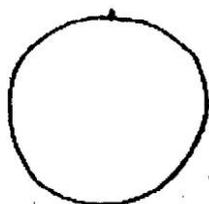
5
円筒
cylindrical



6
ひし形
rhomboid



7
扁球
obloid

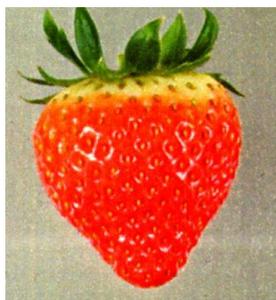
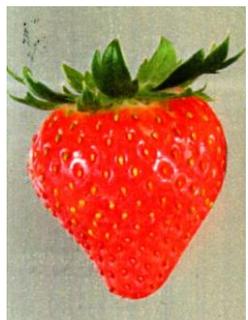
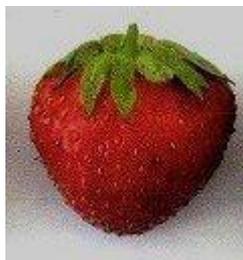


8
球
globose



9
楔
wedged

形質 40 果皮の着色のむらの強弱 Char.40 Fruit: evenness of color



1

無又は極弱

even or

very slightly uneven

2

弱

slightly uneven

3

強

strongly uneven

形質 42 果実の表面の凹凸の強弱 Char.42 Fruit: evenness of surface



1

無又は極弱

even or

very slightly uneven

2

弱

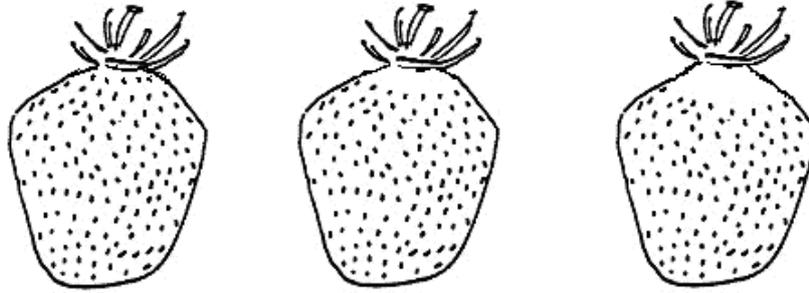
slightly uneven

3

強

strongly uneven

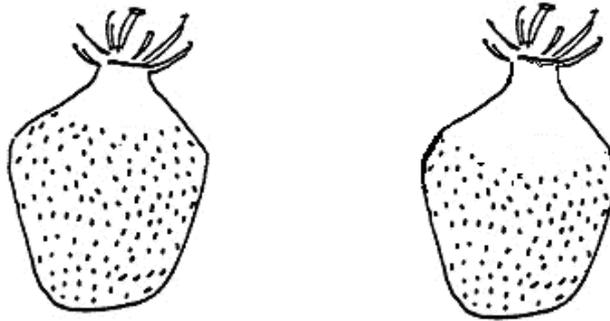
形質 43 果実の無種子帯 Char.43 Fruit: width of band without achenes



1
無又は極狭
absent or
very narrow

3
狭
narrow

5
中
medium



7
広
broad

9
極広
very broad

形質 45 そう果の落ち込み Char.45 Fruit: position of achenes



1
落ち込み大
very deep below surface

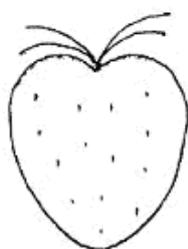
2
落ち込み中
deep below surface

3
落ち込み小
below surface

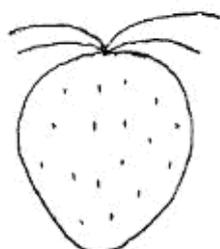
4
果皮並
level with surface

5
飛び出す
above surface

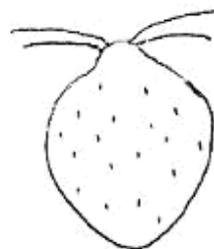
形質 48 果実のがくの着生位置 Char.48 Fruit: position of calyx attachment



1
陥入
inserted

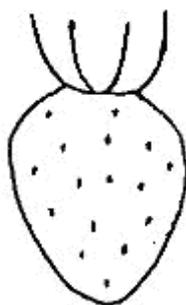


2
平
level with fruit

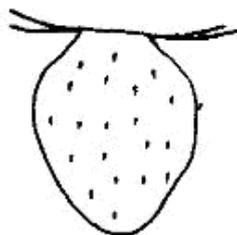


3
隆起
raised

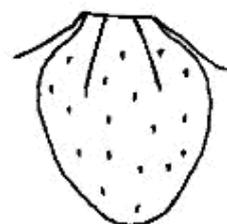
形質 49 果実のがく片の付き方 Char.49 Fruit: attitude of sepals



1
上向き
upwards



2
水平
outwards



3
下向き
downwards

形質 50 果径に対するがくの大きさ

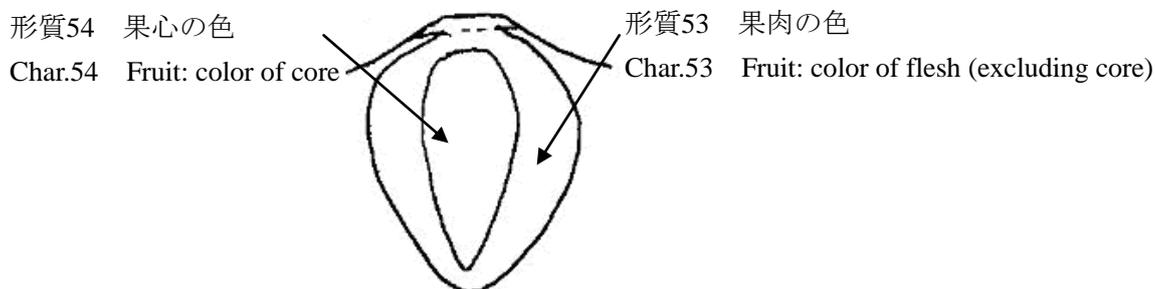
Char.50 Fruit: diameter of calyx in relation to diameter of fruit

がくは引き伸ばして観察する。

The diameter of calyx is measured with the sepals held flat.

形質 53 果肉の色 Char.53 Fruit: color of flesh (excluding core)

形質 54 果心の色 Char.54 Fruit: color of core



形質 57 果実の成熟期 Char.57 Time of beginning of fruit ripening

第1果房の第1番果が熟した時期。

The time when the first fruit in the first cluster ripens.

形質 58 季性 Char.58 Type of bearing

- 1 : 一季成り : 一年のうち一度だけ開花結実する。
- 2 : 時々二季成り : 一年のうち二度開花結実することは出来るが、環境による影響を強く受ける。
- 3 : 二季成り : 一年のうち二度開花結実することが出来、環境による影響をあまり受けない。
- 4 : 四季成り : 連続的に開花結実することが出来る。花成に日長の影響を受けない。したがって、ランナーを観察する際、ランナーの生育と同時に、子株の開花結実が見られる。

1: Not remontant: Flowering and fruiting only once in a season;

2: Partly remontant: The potential to flower and fruit twice in a season, but strongly influenced by the environment;

3: Fully remontant: Flowering and fruiting twice in a season, largely irrespective of the environment;

4: Day neutral: Flowering and fruiting multiple times, continuously in a season.

Do not require decreasing day length for flower induction. In cases where stolons are observed, therefore, stolons produce flowers and fruits in the same season as the plant producing the stolon.

形質 62 休眠性 Char.62 Dormant period

春の平均気温 10℃頃の矮化程度（ロゼット状態を脱し葉柄が伸長してくる時期）を標準品種と比較する。

形質 63 炭そ病抵抗性 Char.63 Resistance to *Colletotrichum fragariae*

試験方法

- 1 病原体の維持
培地：PSA（ジャガイモ・シュークロース寒天）培地
- 2 接種源の調整
培地：PS（ジャガイモ・シュークロース）培地
培養条件：28℃で10日間振とう（110rpm）
菌濃度：ガーゼでろ過し孢子濃度を 5×10^5 個/mlに調整
- 3 植物の育成
無菌の用土をつめた5号ポリポットに発根苗を植え3～5葉が展開した健全な苗を準備する。
- 4 接種
供試苗に調整した孢子懸濁液を株全体から液がしたたる程度（10 ml）にハンドスプレーで噴霧接種する。 1区15株×2反復
- 5 接種後の管理
接種株は25～30℃の温度で飽和湿度を保って2日間管理する。3日目以降は直射日光の当たらない所で湿度は昼間60%、夜間は飽和湿度に設定する。
- 6 試験期間
3週間（接種から最終判定まで）
- 7 発病調査
発病指数を算出し標準品種と比較して抵抗性を判定する。
発病評点
 - 5 枯死
 - 4 急性萎ちょうの発生、葉柄の1/2以上が枯死
 - 3 葉柄の2/3以上に病斑が見られ、葉柄の1/2未満が枯死
 - 2 葉柄の1/3以上2/3未満に病斑が見られる
 - 1 葉柄の1/3未満に病斑が見られる
 - 0 無病徴

$$\text{発病指数} = \left(\sum (\text{発病評点} \times \text{発病程度別の株数}) \right) / (\text{調査株数} \times 5) \times 100$$

- 8 標準品種
罹病性：芳玉、女峰、紅寿
やや抵抗性：はるのか
高抵抗性：宝交早生

形質 64 萎黄病抵抗性 Char. 64 Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *fragariae*

試験方法

- 1 病原体の維持

培地：PSA（ジャガイモ・シュークロース寒天）培地

2 接種源の調整

培地：PS（ジャガイモ・シュークロース）培地

培養条件：28℃で10日間振とう（110rpm）

3 植物の育成

育苗は通常の方法で行い、本葉が3枚程度展開している健全な苗を準備する。

4 接種

消毒したプラスチック製箱に接種源を注ぐ（深さ5mm）。供試する苗を掘り上げて余分な土を落とし根を接種源に10分間浸漬して浸根接種する。接種した苗は殺菌した育苗用培養土を入れたポリポットに移植する。1区15株×2反復

5 接種後の管理

室温は20～30℃とし土壌水分はいちごに適した湿度よりやや高めにする。

6 試験期間

50日

7 発病調査

発病指数を算出し標準品種と比較して抵抗性を判定する。

発病評点

4 枯死

3 病徴が著しく枯れ始める。

2 小葉が相称でないなどの病徴を示す葉が3枚以上ある。

1 小葉が相称でないなどの病徴を示す葉が1～2枚見られる。

0 無病徴

発病指数 = $(\sum (\text{発病評点} \times \text{発病程度別の株数}) / (\text{調査株数} \times 4)) \times 100$

8 標準品種

罹病性：宝交早生

やや抵抗性：はるのか

高抵抗性：芳玉